

平成30年1月16日

各位

会社名 株式会社 じげん
代表者名 代表取締役社長 平尾 丈
(コード番号: 3679 東証マザーズ)
問合せ先 CFO(最高財務責任者) 寺田 修輔
(TEL. 03-6432-0352)

アップルワールド・ホールディングス株式会社の株式取得(子会社化)について

当社は、平成30年1月15日夜間開催の取締役会において、アップルワールド・ホールディングス株式会社(本店所在地: 東京都豊島区、代表取締役: 小木尊人、以下「APWH」)の発行済株式の100%を取得し、連結子会社化することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 概要と事業戦略

APWHは、株式会社アップルワールド(本店所在地: 東京都豊島区、代表取締役: 雙木好美、以下「APW」)の完全親会社として平成26年にアント・キャピタル・パートナーズ株式会社(本店所在地: 東京都千代田区、代表取締役: 飯沼良介)が運営するアント・カタライザー4号投資事業有限責任組合等の出資により設立され、平成29年3月期の連結取扱高は5,597百万円、連結営業収益は719百万円、連結EBITDAは94百万円でした。平成30年3月期の連結取扱高は約5,200百万円、連結営業収益は約730百万円、連結EBITDAは約180百万円となる見通しです。なお、平成28年3月期や平成29年3月期には営業損失を計上していますが、これは主にアント・カタライザー4号投資事業有限責任組合等による株式取得時に発生したのれんの償却費に起因しており、当社連結後はIFRS適用下でのれん償却費が非計上となり、APWHの営業損益は黒字となる見込みです。

APWは、世界約150ヵ国約11万件のホテル情報を、日本国内を主とする旅行代理店約3,000社や提携企業、個人ユーザーに提供するランドオペレーションアグリゲーターとして、法人向けWEBメディアである『アップルワールド』と個人向けWEBメディアである『ホテリスタ』を主に運営しています。

当社はこれまで、既存領域における送客力強化、顧客基盤拡大に加え、新規領域への拡張により、メディアプラットフォームの価値を拡大してまいりました。APWHの株式取得により、人材、不動産、自動車に次ぐ主力事業として旅行領域への本格参入を企図しています。

旅行領域にはメタサーチ、OTA(オンライン専門旅行代理店)、ランドオペレーター、旅行代理店、航空会社、ホテルオペレーターと多種多様なプレーヤーが共存、競合しており、アグリゲーション事業の介在価値が大きいと考えています。

当社の強みであるマッチングテクノロジーやプラットフォーム構築力を活かし、仕入先、販売先との連携深化や個人向けメディアの強化を行うことで、APWHの持つ国内旅行代理店や海外ホテルネットワークを最大限活用し、企業価値向上を目指します。

2. 市場環境

近年の我が国からの海外旅行者数は1,700万人前後、海外旅行消費額は4兆円強で推移していますが、日本旅行業協会(JATA)では2020年までに海外旅行者を2,000万人へ引き上げる目標を掲げています。また、世界観光機関(UNWTO)によれば、世界全体の国際観光客数は2030年にかけて年率

3.3%増加し、2010年の9.4億人から2020年までに14億人、2030年までに18億人へと達することが予測されています。

また、我が国のオンライン旅行販売額は年率10%程度の成長率で増加している一方、オンライン販売が全体に占める比率は約30%と欧米に比べて低位であることから、今後も旅行市場におけるWEBメディアのプレゼンスは向上する可能性が高いと予想されます。

3. 財務戦略

株式取得金額の全額を、現預金として有している第5回新株予約権の行使による調達額で充当する予定で、新規借り入れやエクイティファイナンスの計画はございません。

当社連結の平成30年3月期末親会社所有者帰属持分比率は約55%、のれん/資本倍率は約0.7倍と、当社が中期経営計画で掲げている財務目標(親会社所有者帰属持分比率40%以上、のれん/資本倍率1.0倍程度)の範囲内となる見通しです。

4. 対象会社の概要 (平成29年12月31日現在)

(1) 商 号	アップルワールド・ホールディングス株式会社		
(2) 所 在 地	東京都豊島区		
(3) 代 表 者	代表取締役 小木尊人		
(4) 事 業 内 容	旅行業		
(5) 設 立 年 月 日	平成 26 年 6 月		
(6) 資 本 金	462 百万円		
(7) 大株主及び持株比率	アント・カタライザー 4 号投資事業有限責任組合 86.76% Catalyzer Partners IV, L.P. 11.62%		
(8) 当 社 と の 関 係	資本関係、人的関係及び取引関係はありません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態（注 1）（注 2）			
決算期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
純 資 産	791 百万円	682 百万円	558 百万円
総 資 産	2,493 百万円	2,440 百万円	2,245 百万円
1 株 当 た り 純 資 産	42.7 千円	36.8 千円	30.1 千円
営 業 収 益	768 百万円	785 百万円	719 百万円
営 業 損 益	114 百万円	△53 百万円	△101 百万円
経 常 損 益	36 百万円	△74 百万円	△107 百万円
当 期 純 損 益	△227 百万円	△109 百万円	△122 百万円
1 株 当 た り 当 期 純 損 益	△14.1 千円	△5.8 千円	△6.6 千円

(注1) 日本の会計基準に基づく。

(注2) 平成27年3月期はアップルワールド・ホールディングス株式会社の約9ヶ月分と株式会社アップルワールドの12ヶ月分とを合算して調整した簡易連結数値。

5. 主な株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	アント・カタライザー4 号投資事業有限責任組合	
(2) 所 在 地	東京都千代田区丸の内1-2-1	
(3) 設 立 根 拠 等	投資事業有限責任組合契約に関する法律	
(4) 組 成 目 的	プライベートエクイティ投資	
(5) 組 成 日	平成22年9月	
(6) 出 資 の 総 額	11,600 百万円	
(7) 出 資 者 の 概 要	金融機関等、事業法人等	
(8) 業務執行組合員の概要	名 称	アント・キャピタル・パートナーズ株式会社
	所 在 地	東京都千代田区丸の内1-2-1
	代 表 者	代表取締役社長 飯沼 良介
	事 業 内 容	投資事業ならびに投資事業組合の運営管理業務
	資 本 金	3,086 百万円
(9) 上 場 会 社 と 当該ファンドの関係	当社との間に記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係を含む利害関係はありません。	

(1) 名 称	Catalyzer Partners IV, L.P.	
(2) 所 在 地	PO Box 309, Ugland House, Grand Cayman, KY1-1104, Cayman Islands	
(3) 設 立 根 拠 等	ケイマン諸島免税リミテッド・パートナーシップ法に基づく リミテッド・パートナーシップ (Limited Partnership)	
(4) 上 場 会 社 と 当該ファンドの関係	当社との間に記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係を含む利害関係はありません。	

6. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：－%)
(2) 取得株式数	18,518株 (議決権の数：18,518個)
(3) 取得価額	普通株式取得価額 1,434百万円 アドバイザー費用等(概算額) 5百万円 合計(概算額) 1,439百万円
(4) 異動後の所有株式数	18,518株 (議決権の数：18,518個) (議決権所有割合：100.0%)

7. 日程

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 取締役会決議 | 平成30年1月15日 |
| (2) 契約締結日 | 平成30年1月16日(予定) |
| (3) 株式譲渡実行日 | 平成30年2月9日(予定) |

8. 取得価額の算定根拠

当社は、DCF法等による評価結果を算出し、売主との交渉の結果、上記の取得価額にて合意いたしました。

9. 今後の見通し

本件による平成30年3月期の当社業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (平成29年 5 月12日公表分) 及び前期連結実績

	売上収益	営業利益	当期利益	親会社の 所有者に帰属する 当期利益
当期連結業績予想 (平成30年 3 月期)	百万円 10, 500	百万円 3, 220	百万円 1, 930	百万円 1, 930
前期連結実績 (平成29年 3 月期)	7, 534	2, 483	1, 473	1, 473